



ウインターカップ2025 静岡県予選

大会展望

文:中島 洋己 ((一社)静岡県バスケットボール協会広報委員長・県立駿河総合高校教諭)



女子の注目選手は前川桃花(浜松開誠館)。U18日本代表活動で得た経験を武器にチームを牽引する

公式戦の連勝が止まったとはいえ、県内大会26連覇継続中の**浜松開誠館**が、

会10連覇を目指す浜松開誠館を大本命に、常勝王者の連勝を止めた東海大学付属静岡翔洋が対抗馬に急浮上、男子同様に県総体3位から6位の浜松南・浜松学院興誠・常葉大学附属常葉市立沼津が波乱を起こすべく戦力を整え、群雄割拠の戦国時代に突入した。

大本命であることに変わりはない。U18日本代表にも選ばれた**前川桃花**は、冷静な判断力と安定感ある得点力、危機察知能力に優れた鉄壁の守備が魅力。**垣内優希奈**は勝負所で確実に決めるクランチシューター。味方のリバウンドを信じ執拗なプレスでタフショットを打たせる守備も絶品だ。いつも笑顔でゲームに臨むムードメーカー**牧田知紘**は高い得点力と執念のディフェンスが信条である。その他にも、驚異の3P成功率を誇る

県新人戦で浜松開誠館の連勝を165でストップさせ、県総体でもライバルを次々と破り準優勝を果たした**東海大学付属静岡翔洋**が、今大会では女王の連覇を止めるべく対抗馬に名乗りを挙げている。恵まれた体格と強靱なフィジカルを駆使したパワープレーが持ち味で、国スポ成年女子のメンバーにも選ばれた注目の逸材、177センチの**稲葉叶**を始め、針の穴をも通す正確なシュート力を持ち味の**星合汐風**や、度胸満点の3Pで二気に流れを引き寄せるプレーが魅力の**北川侖奈**など戦力充実期を迎えている。まずは初のメインコートに立ち、3度目の女王との戦いを制し初優勝を飾りたい。

昨年準優勝の**浜松南**は東海新人、東海総体に出場。共に勝利を挙げベスト8に輝いた。**鷹野瑠美**は唯一無二の得点力、**萩原静音**は球際の泥臭さと堅実な守備でチームに貢献するなど、キャリアを重ねた3年生と、東海総体で25得点を挙げた**相澤彩乃**、アウトサイドの魔術師、**金森柚妃**、東海国スポで主将を務めた**金子莉央**ら2年生が融合して本領を発揮する。粘り強い激しいディフェンスから1on1を仕掛けドライブ主体の攻撃

その他にも、先輩からの薫陶を胸に**辻本直矢**を中心とした新進気鋭の面々で臨む**浜松西**、望月吹のディープスリーで得点を重ねる**城南静岡**、猪突猛進のドライブが武器の**小島颯也**を擁する**浜松商業**、新藤穂月の固いディフェンスで相手エースを封じ込め、ロースコアに持ち込み勝機を見出したい**韮山**、そして状況判断に優れた試合巧者の増田好汰を攻撃の軸に、安定した成績を続ける**島田工業**などがブロック決勝進出を虎視眈々と狙う。

その他にも、先輩からの薫陶を胸に**辻本直矢**を中心とした新進気鋭の面々で臨む**浜松西**、望月吹のディープスリーで得点を重ねる**城南静岡**、猪突猛進のドライブが武器の**小島颯也**を擁する**浜松商業**、新藤穂月の固いディフェンスで相手エースを封じ込め、ロースコアに持ち込み勝機を見出したい**韮山**、そして状況判断に優れた試合巧者の増田好汰を攻撃の軸に、安定した成績を続ける**島田工業**などがブロック決勝進出を虎視眈々と狙う。



第78回全国高校バスケットボール選手権大会(ウインターカップ2025)静岡県予選が令和7年10月18日に開幕する。男子上位2チームと女子優勝チームが12月23日から東京体育館他で行われる全国選手権大会へ出場する。今年は男子の全国出場が2枠となり、優勝争いだけでなく全国出場権争いも熾烈を極め、女子は常勝王者を脅(おびや)かすチームが現れるなど近年にない見どころ満載の大会となりそうだ。



今大会の注目選手の野津光創(藤枝明誠)。強豪浜松開誠館も3人掛かりで止めるほどの実力を持つ

2 となった全国出場枠を、大会3連覇中の東海王者・藤枝明誠と3大会連続準優勝の浜松開誠館を中心に、県総体3位から6位の静岡学園・静岡商業・浜松学院興誠・沼津中央が横一線に猛追する実力伯仲の争いが予想され、ブロック決勝が最大の山場となりそうだ。

大本命の**藤枝明誠**は圧倒的な力で東海総体を制し、静岡県の全国大会出場枠を「2」に増やした。県内大会10連覇・72連勝と充実した戦力で全国制覇も狙う。全国屈指のオールラウンダー**野津光創**は絶妙なパスや鋭いドライブだけでなく192センチの長身を生かしたパワープレーも体得、内外で得点源となるスコアラー**渡邊聖**も幅の広いプレー

と類まれな得点センスを持つ。**篠原遼太**はポストプレーとブロックでゴール下の砦となる。インサイドは200センチの**エマニエル**と205センチの**モドウ**がタイムシェアして出場、大型新人の**福本彩**人も加わり総合力は昨年に勝るとも劣らない。全国総体ではまさかの初戦敗退を喫し、つけ入る隙ありと見る向きもあるが、敗因を分析して軌道修正を図っており、危機感を持つて今大会を迎える。

県準優勝が続き、頂点を極める機が熟したといえる**浜松開誠館**は、高確率のシュートや手堅いディフェンスが冴える3&D選手の高森カイルを筆頭に、華麗なテクニクから『見える超特技』を連発し会場を沸かせる**木村眺大**や、日本人県内最高身長196センチを誇る

U18日本代表にも選ばれた静岡県の至宝と言われる**後藤大駕**が揃っている。目指すは藤枝明誠の牙城を崩して4年ぶりの優勝と、全国での活躍だ。

県総体3位、東海総体にも出場した**静岡学園**は、研ぎ澄まされた集中力で決定打を放つ攻守の要、**内山直陽**を中心に、センスの塊、バスケの申し子と言える**小永井優磨**や国スポで培ったキャプテンシーをチームに還元する司令塔の**大長真士**などタレントは揃っている。一心不乱にバスケットに打ち込んできた選手たちの手で、四半世紀ぶりの全国を掴みたい。

静岡商業は誰でもどこからでも3Pが放たれるファイブアウト的なバスケットが魅力。ドライブの初動に洗練された駆け引きを感じさせる**文谷虎斗**を柱に、**齊**

藤遙人、仲山柊志、佐野煌介など鍛え抜かれたメンバーで、公立高校として12年ぶりのメインコートを狙う。

浜松学院興誠は1年時からチームを牽引する**末永蒼**と**西垣玲央**の爆発的な攻撃力に、粘り強い守備に定評がある**藤井惺豪**、そして205センチの**クリス・ティーン**のリバウンドなどで2年ぶりの全国出場を射程圏内にとらえる。

沼津中央はインサイドの高さが驚異だ。190センチ超えの3選手がゴール下で待ち構える。192センチの**エルデネバト**、今大会最高身長207センチの**カリファ**、そして190センチの長身と『鳥人レベル』の爆発的跳躍力で留学生と互角以上に渡り合う大器、**高木強臣**の高さに加え、**中島清之介**、**村上幸斗**など日替わりヒーローを輩出するガード陣を有機的に絡めた戦力は、対戦相手にとつては脅威そのものである。

決勝リーグは対戦順、相性、得失点差などの要素が複雑に絡み合い、どのチームにもチャンスが生まれる。そこに辿り着く前のブロック決勝はまさにサバイバルゲームと化すだろう。